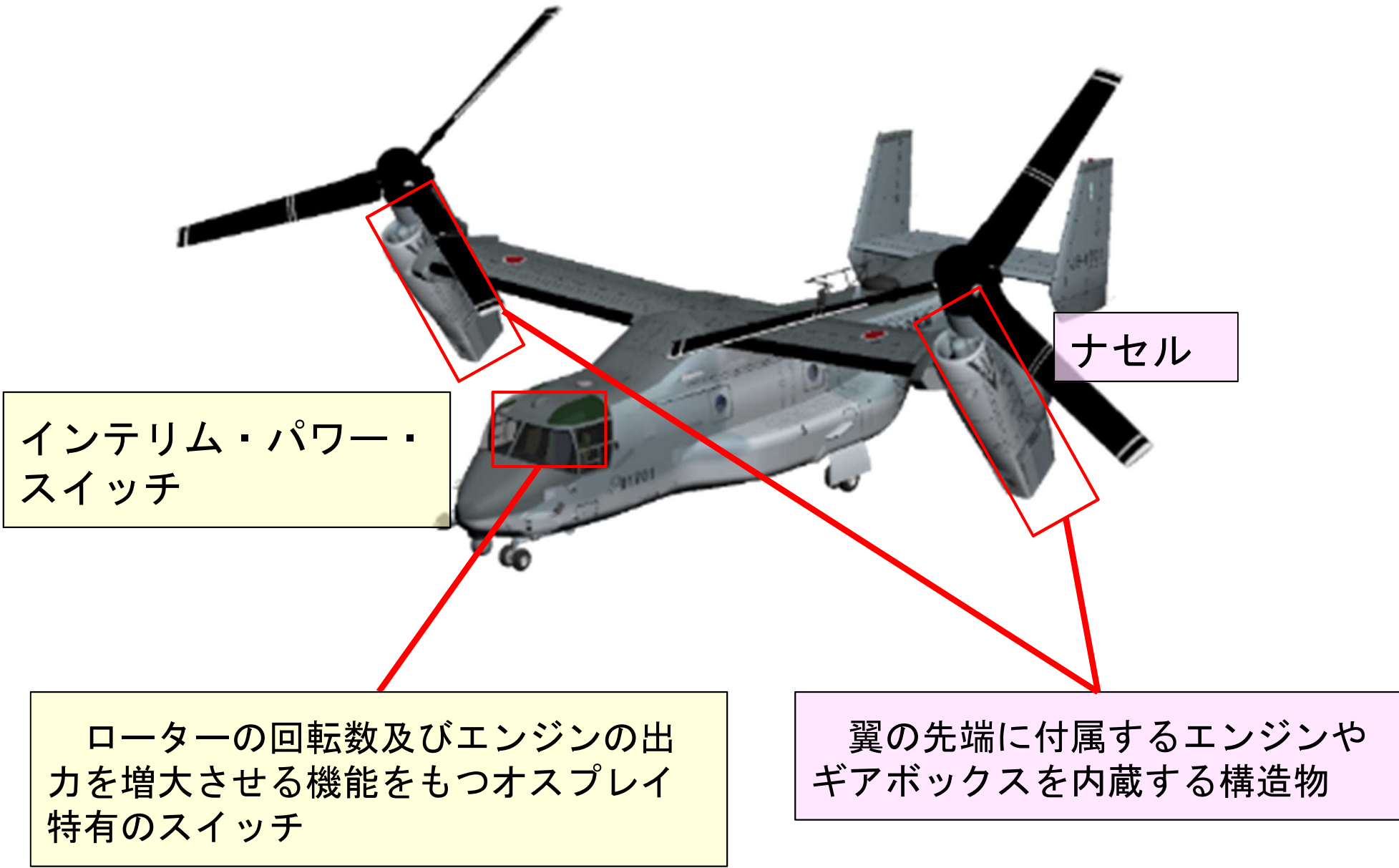


航空事故に関連する部位



インテリム・パワー機能について

他の回転翼機に比し、**V-22のローターブレードは、機体重量に対する長さが短い**ため、特に**離着陸時において高いエンジン出力を要することから、一時的にエンジン出力を増大するインテリム・パワー機能※が必要**

(※通常、エンジン出力は最大100%まで制限されているところ、エンジンへの燃料流量の増大及びローター角度を調整することで、ローター回転数及びエンジン出力を増大させる機能により100%以上の高出力まで使用可能)

巡航時：APLNモード
(エアプレーン)



標準的な出力



高出力

離陸時：VTOLモード
(ブイトール)

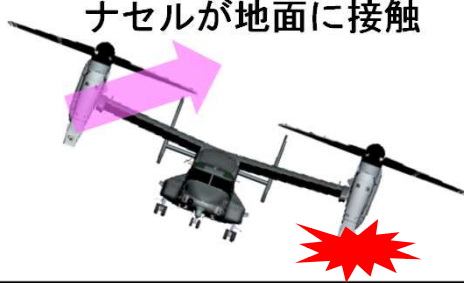


高出力

着陸時：VTOLモード
(ブイトール)

航空機の左右交互の揺れによる不安定な状態

接地後も出力を最大まで使用していたため、再度航空機が上昇するとともに、左右に対する過大な操作を実施することにより、左右交互の揺れが発生し、左ナセルが地面と接触

機体姿勢	① 右後輪接地時（右2°） 右に傾いた状態で接地	② 接地時（水平） 全ての車輪が接地	③ 左横転の兆候（左への傾き） 着陸時の操作により左横転への兆候が発生
			
操縦桿等 操作	○ 機体を水平にし安定させるため左に傾ける操作を実施 ○ 着陸時の衝撃を局限させるため、エンジン出力は100%を保持	○ 着陸後も左に傾ける操作継続 ○ 接地後、エンジン出力を下げなければならないところ、エンジン出力100%を継続	○ 横転を防ぐため右に傾ける過大な修正操作を実施 ○ エンジン出力100%の継続
機体姿勢	④ 浮揚しながら右横転（右8°） 修正操作により浮揚しつつ右に傾き不安定な状態が発生	⑤ 左横転、ナセル接触（左24°） 修正操作により大きく左に傾きナセルが地面に接触	⑥ 接地（水平）
			
操縦桿等 操作	○ 機体を制御するため左に傾ける過大な修正操作を実施 ○ エンジン出力100%の継続	○ 機体を制御するため右に傾ける修正操作を実施 ○ エンジン出力100%の継続	○ 機体を制御するため修正操作を継続 ○ 接地のためエンジン出力を低下